

令和8年度安曇野市文書館前期企画展



反逆性 | 1920年

# 自由を扶く 望月桂

—犀川凡太郎の人生漫歩—

Mochizuki Katsura

2026 5.10 sun. — 8.30 sun.

会場：安曇野市文書館1階閲覧コーナー  
入館料：無料

主催：安曇野市教育委員会  
担当：文化課博物館担当

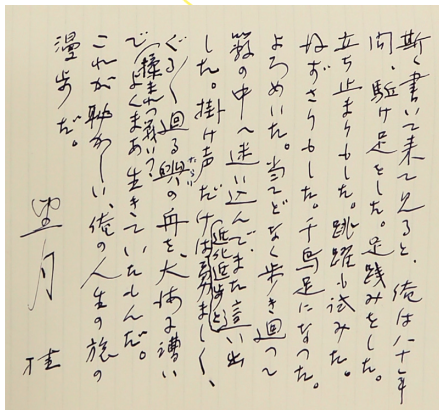
 安曇野市文書館  
〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川2753番地1

# 望月桂 自由を扶くひと

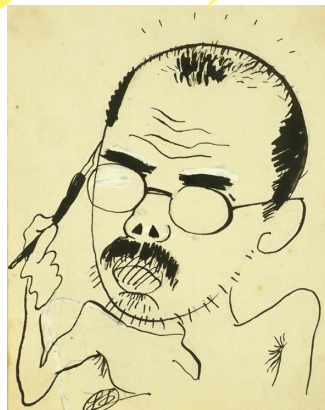
生涯をかけて自由を追い求めた望月桂(1886-1975)は、日本の現代アート之源流にいとっていい人物です。

現在の長野県安曇野市に生まれた望月は、東京美術学校に学び、荻原守衛(碌山)らに影響を受けました。卒業後は普通の画家にならず、大正時代の東京で一膳飯屋「へちま」をひらきます。そこは誰もがアーティストになれる場でした。望月は斬新な未来派の技法で挑発的な絵を描き、「黒耀会」を組織して過激なアンデパンダン展を開催。美術のみならず演劇、音楽、漫画も展開しました。その鮮烈な軌跡は、アートの歴史を書き換え、文学史や社会運動史にも今までにない視覚的イメージを与えるものです。戦後は郷里で農地改革や女子校の美術教育に携わり、また新たな自由を追求しました。もともと、画壇で活動しなかったため、長らく美術史では知られないままでした。

本展は、2025年に原爆の凶丸木美術館(埼玉県)で開催された同名展覧会の凱旋となります。近年ご遺族から安曇野市に寄託いただいた資料のうち、安曇野市美術館で絵画や文書を中心に約140点を、安曇野市文書館で紙資料を中心に一部を紹介し、碌山美術館で小企画を行います。思想弾圧、そして戦争。先の見えない時代を痛快に生き抜こうと奮闘した望月と仲間たちの精神は、驚きをもって、現代の私たちを取り巻く世界にも風穴を開けてくれるはずです。



人生漫歩の足跡 思い出 その11 | 1963～1969年頃



『漫文漫画』原画「望月桂(自画像)」 | 1922年

## 望月桂(犀川凡太郎)の人生漫歩

「人生漫歩の足跡—思い出」は、全11冊の大学ノート(A5版)からなる望月桂(ペンネーム犀川凡太郎)の回想録です。桂は、絵画・漫画は当然のこと、多彩な社会活動にかかわっての評論、随筆、日記など実に数多くの手稿を残しています。桂が自らこれらの記録や論考を見比べ、編集してまとめたのがこの「人生漫歩の足跡」です。第一分冊の表紙には「年代順にこだわらず思いつきのまま。ダブル処もある。昭和38年より記」と書かれています。70代も後半にさしかかった桂が自らの生涯を振り返り、波乱に満ちた活動の日々、荻原碌山との出会いなど忘れえぬ人々の思い出を記しています。曰く「これが恥かしい、俺の人生の旅の漫歩だ。」

本企画展では、「人生漫歩の足跡—思い出」等の手稿から、桂の晩年の安曇野での活動を中心に、その人間観、社会観、そして桂自身の生きざまに迫ります。



## 望月桂の唯一の著作『漫文漫画』

望月桂の唯一の著作は『漫文漫画』です。『漫文漫画』は、大杉栄との共著で、望月が漫画を描き、大杉が漫文(思いつくままに書いた、とりとめのない文章)を書いています。望月桂関係資料の中には『漫文漫画』の原画の他に、数多くの原画が残されています。桂は漫画を通して何を伝えたかったのか、いっしょに考えてみましょう。



## 文書館ならではの望月桂展

望月桂の足跡は、安曇野市文書館収蔵の公文書等にも残されています。中川手農地委員会(農業委員会)の議事録や東川手国民学校・中川手国民学校の学校日誌等に桂の名前が出てきます。本企画展では、望月桂関係資料以外にも文書館収蔵資料を用いて、桂の足跡をたどっていきます。

## 講演会1

### 「安曇野市文書館と調査団との協働

—望月桂関係資料目録がむすぶ記録と記憶—

6月21日(日) 午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)

●安曇野市堀金公民館講堂

●講師: 谷口英理氏

(独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 主任研究員)

山永尚美氏

(独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 アソシエイトフェロー)

●申込: 5月26日(火)から

## 講演会2

### 「手稿がひらく美術史と社会史」

7月26日(日) 午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)

●豊科交流学习センターきぼう 多目的交流ホール

●講師: 足立元氏(二松学舎大学准教授、望月桂調査団代表)

●申込: 6月23日(火)から

## 講座

### 「望月桂 ～入門編～」

5月17日(日) 午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)

●安曇野市堀金公民館講堂 ●講師: 三澤新弥(文化課長)

●申込: 4月21日(火)から

いずれも参加費: 無料/定員: 100人(先着順)

【電話】【FAX】【電子メール】いずれかの方法で、お申し込みください

TEL (0263) 71-5123 FAX (0263) 71-5127

メール bunshokan@city.azumino.nagano.jp

◆手話通訳、要約筆記については、事前にご相談ください

## 安曇野市文書館

〒399-8211  
長野県安曇野市  
堀金烏川2753番地1

[開館時間]  
午前9時～  
午後5時

[休館日] 土曜日、  
祝日、年末年始  
(12/29～1/3)



HPはこちら



関連企画 安曇野市美術館「望月桂 自由を扶くひと」2026.7.4 sat. — 8.30 sun.  
碌山美術館 連携展示 2026.7.4 sat. — 8.30 sun.